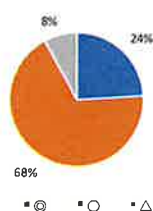


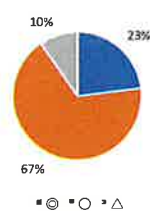
令和6年保育所自己評価・5月集計表（第2さつき認定こども園本園）

	◎：とても良い	○：良い	△：配慮しましょう
1. 保育指針の理解	42	118	14
2. 発達援助の基本	71	207	30
3. 健康・保健・食事	25	85	4
4. 保護者との連携	43	85	72
5. 地域との関わり	8	59	20

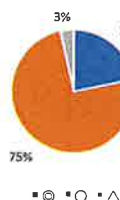
1. 保育指針の理解



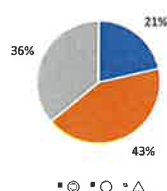
2. 発達援助の基本



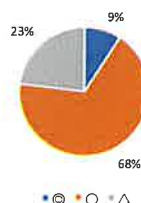
3. 健康・保健・食事



4. 保護者との連携



5. 地域との関わり



総評

1. 保育指針の理解	一人ひとりの子どもの最善の利益を第1に考え、保育指針や園の全体計画を基に遊びや活動に取り組みめるよう見通しをもった保育を行って行く。研修や自己研鑽を通して、常に自らの人間性と専門性の向上に努め共通理解を図り、保育の質を高めていけるようにする。
2. 発達援助の基本	個々の育ちに寄り添い、いろいろな遊びや応答的な関わりの中で保育を行う。個々の発達に合わせた関わりをもつことにより、発達を保障し、子どもの視点に合わせた計画を立案する。保育を振り返りその過程で子どもの理解を深めていく。肯定的な視点で1人1人の様子や育ちを担当同士で共有し次へつなげていけるよう声かけし合い、話し合いを重ねて保育をしていけるように意識していく。
3. 健康・保健・食事	登園時の検温・視診を行い家庭と健康面との共有をしていく。また、感染症予防の発信や熱中症等・園での流行中の病気の掲示やアプリ等で知らせる。職員の全体周知では、引き続きアレルギー児の全体把握。エビベンを預かる園児もいることなど、アレルギーについてやエビベン使用の研修を行う。食事は、アレルギー除去食を提供。厨房職員との連携。提供する給食おやつにアレルギー食材の有無確認。空器の園児の名前の確認。安全安心に過ごすためにも環境づくりに努める
4. 保護者との連携	子ども達が園で笑顔で元気に過ごすことが出来るように、保護者には「早速早起き朝ごはん」と規則正しい生活習慣を働きかける。特に夏場は、暑く熱中症等を予防するにあたってこの協力は不可欠。園での生活の様子や連絡等を丁寧に伝える。保育者と保護者との間で情報を共有し、協力して子どもの成長を支える取り組みのことを指します。また、問題が発生した場合には、早めに連絡し、解決に向けて協力する姿勢を示す。単なる情報交換にとどまらず、お互いの意見や考えを尊重し合う。そうすることで、課題に寄り添い保護者と保育者の信頼関係を築いていく。話しにくい内容等などには、意見箱との設置で意見を聞く機会を設けている。
5. 地域との関わり	地域の人々との挨拶交流。 地域の人々や関係機関と共に子育てを支援し、小学校への入学につなげていけるように小学校との交流活動へ参加をする。保育者と教師の意見交換、研修会への参加。授業参観を見学。期待をもって就学にむかえるよう連携をとって行きたい。地域で開かれるはごろも祭りに4歳児が参加予定。

保育士の目標・自己評価（5月）

目標	個々の育ちに寄り添い、いろいろな遊びや応答的な関わりの中で保育を行う。職員間で意見を出し合い保育の質を上げれるような雰囲気大切に作る。
	個々の発達段階は好きな行動を取り入れながら設定に行かせていきたい。
	指導計画、個々の発達段階（状況）の理解を深め、見通しを持った保育を出来る様に努める。その日の状況で臨機応変に動けるようになる。
	個々の発達に合わせた関わりをもち、見通しを持った保育をする。
	個々にあった目標を決め、集団生活を楽しく育ちへ繋げていく。
	子ども一人一人に合わせた保育や関わり方を試行錯誤し実施していく。
	クラスの様子だけでなく、0.1歳児クラスの様子を把握していける様にしていく。子どもたちの育ちを見守り援助していく中で、1人1人の発達に合わせて対応していける様にしていく。
	「だめだよー」と言ってしまう事もあるので、気を付けていきたい。子どもたちが、伸び伸びと楽しんで過ごしていけるような保育を頑張りたいです。保護者にも寄り添えるような保育者になりたいです。
	子ども1人ひとりと真剣に向き合い、子どもたち自身の可能性を信じていきながら、関わっていく。そして、こども一人ひとりや保護者の声をひろいながら居心地がよく、心温まる場所を作れるような環境、保育を心がけて行きたい。
	心のこもった保育。（優しく笑顔で語りかける、丁寧な対応）をする様心掛けていく。保護者から相談されたり
	目配りや子どもの安全や安心につながるよう責任をもって関わる・環境、整備、衛生面等心地良く過ごせる現場作り。
	日々緊張していて、保護者対応時などは特にうまく言葉が出てこない時や聞き忘れ、伝え忘れがあったので、深呼吸しながら落ち着いて対応出来るようにする。分からない事は、周りの職員に質問したり、アドバイスをもらい保育や書類をすることが出来た。ヘルプを出すと、すぐにたくさんの職員が助けてくれるので安心して業務につくことが出来た。日々勉強し必要大切だと思う。知識を自分だけでなく、周りの人にも伝えて行けるよう行動していきたい。
	進級に向けてこども達が無理のないように自分で出来る事を増やしていけるようクラス内で話し合い計画実施
	もっと発達援助ができる様にしていきたい。。指導計画の作成などが苦手なので、ほかの先生方に教えてもらったり、書類などを参考に作っていききたい。
	初めての3歳児クラスの担任になった為、3歳児の発達について再度確認しながら、一人一人に寄り添った保育をしていく。
	3歳児2年目。心に多少の余裕が出来たが、適切な保育を心掛けながら子どもたちと信頼関係を築いていき一緒に成長していきたい。
	こども一人一人に目を向け、子どもの思いを大切にしながらその中で、社会的ルールが身に付くように関わり保育を行う事を心掛けて実践する。保護者との信頼関係を築き、家庭と園で一緒にこどもの成長を見守っていく。
	自ら保育を振り返り、幼児理解を深めていきながら、質の良い保育を展開していける様にする。 職員間の連携を密にし働きやすい環境づくりを目指し、安心安全を心掛け努めていく。
	子ども主体で子どもの成長にしっかり寄り添った保育をし、保護者との信頼関係も築き自分自身が楽しむ。
	子どもたちとの関わり方や、思いに寄り添い楽しめる保育ができる様にしていく。子どもだけではなく保護者との関わりを大切にしていく。
	こども達と信頼関係を築き、一緒にいて安心できるような保育士になる。保護者対応、支援に関しての知識を増やし、スムーズに対応できるようになる。

保育士の目標・自己評価（12月）

目標

個々の育ちに寄り添い、いろいろな遊びや応答的な関わりの中で保育を行う。職員間で意見を出し合い保育の質を上げられるような雰囲気大切に作る。
個々の発達段階は好きな行動を取り入れながら設定に行かせていきたい。
指導計画、個々の発達段階（状況）の理解を深め、見通しを持った保育をを出来る様に努める。その日の状況で臨機応変に動けるようになる。
個々の発達に合わせた関わりをもち、見通しを持った保育をする。
個々にあった目標を決め、集団生活を楽しく育ちへ繋げていく。
子ども一人一人に合わせた保育や関わり方を試行錯誤し実施していく。
クラスの様子だけでなく、0.1歳児クラスの様子を把握していける様にしていく。子どもたちの育ちを見守り援助していく中で、1人1人の発達に合わせて対応していける様にしていく。
「だめだよー」と言ってしまう事もあるので、気を付けていきたい。子どもたちが、伸び伸びと楽しんで過ごしていけるような保育を頑張りたいです。保護者にも寄り添えるような保育者になりたいです。
子ども1人ひとりと真剣に向き合い、子どもたち自身の可能性を信じていきながら、関わっていく。そして、こども一人ひとりと保護者の声をひろいながら居心地のこもった保育。（優しく笑顔で語りかける、丁寧な対応）をする機心掛けている。保護者から相談されたことがあれば、皆にも話し、一番良いと思われる方法を提案していく。
自記りや子どもの安全や安心につながるよう責任をもって関わる・環境、整備、衛生面等心地良く過ごせる現場作り。
日々緊張していて、保護者対応時などは特にうまく言葉が出てこない時や聞き忘れ、伝え忘れがあったので、深呼吸しながら落ち着いて対応出来るようにすすんで進級に向けてこども達が無理のないように自分で出来る事を増やしていけるようクラス内で話し合い計画実践していく。保護者支援やクラス職員間で情報共有、連携を密にしていきたい。
もっと発達援助ができる様にしていきたい。。指導計画の作成などが苦手なので、ほかの先生方に教えてもらったり、書類などを参考に作ってしていきたい。
初めての3歳児クラスの担任になった為、3歳児の発達について再度確認しながら、一人一人に寄り添った保育をしていく。
3歳児2年目。心に多少の余裕が出来たが、適切な保育を心掛けながら子どもたちと信頼関係を築いていき一緒に成長していきたい。
こども一人一人に目を向け、子どもの思いを大切にしながらその中で、社会的ルールが身に付くように関わり保育を行う事を心掛けて実践する。保護者との信頼関係を築き、家庭と園で一緒にこどもの成長を見守っていく。
自ら保育を振り返り、幼児理解を深めていきながら、質の良い保育を展開していける様に作る。 職員間の連携を密にし働きやすい環境づくりを目指し、安心安全を心掛け努めていく。
子ども主体で子どもの成長にしっかり寄り添った保育をし、保護者との信頼関係も築き自分自身が楽しむ。
子どもたちとの関わり方や、思いに寄り添い楽しめる保育ができる様にしていく。子どもだけではなく保護者との関わりを大切にしていく。
こども達と信頼関係を築き、一緒にいて安心できるような保育士になる。保護者対応、支援に関しての知識を増やし、スムーズに対応できるようにする。

自己評価

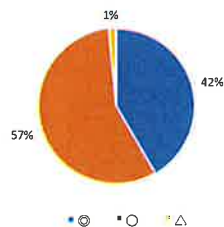
0
個々の発達段階や「やってみたい」という意欲にあわせて、援助や声掛けの仕方を変えて接するようにしている。
月案や個人月案等アドバイスや訂正をしてもらいながら、スモールステップで計画を知ることが出来た。設定保育や保護者との対話にも少しずつだが慣れてきた。でも、まだ慌ててしまう事が多い。頭の中で整理しわかりやすい伝え方を意識していく。
自分自身も楽しみながら子ども達のわかりやすい声掛け関わりが出来る様に意識して保育を進めていった。
生活リズムや指導計画のフィードバックを行い注意して保育を行ってみた。職員の共通理解の加減が難しいところもあるが、協同性を出る限りスムーズに行けるよう気を付ける。子どもを理解し接しているつもりだが、見逃さず!!といわれると多少の戸惑いがあり、引き続き丁寧に保育をしていきたい。
0
子ども達との信頼関係も出来ている。1人1人の様子や育ちを担当同士で共有し次へつなげていけるよう声掛けし合い、話し合いを今後も重ねて保育をしていけるように意識している。こども達の成長と共に喜び育ちを支えていけるように保育に努めている。
「だめだよ」ではなく、「〇〇したほうが嬉しいな」「〇〇したほうがいいかも」など楽しい雰囲気伝える事を意識した一年でした。1人1人の個性に合わせて保育をしました。悩む事はありましたが、担任同士で話し合い楽しく保育をすることが出来ました。 あそびや生活のなかで、子どもたちの声を耳を傾けていながら、共感することで、信頼関係も深まり、居心地が良い雰囲気をつくれたのではないかと思います。 また、全てに手を差し伸べることなく難しそうな部分だけを手伝い、出来た喜びを積み重ねられるように関わり、これからも身辺自立(進級)に向け職員同士で子ども1人1人にやさしく笑顔で声掛けした。十分に目を配り、サインを見逃さないようにし、手が回らない時は、ほかの担任に声かけお願いし対処した。こども一人一人の興味は違い同様のしつけはできないが、最低限の守るべきマナー等をしっかり伝えてきた。保護者にも笑顔で子どもの成長を伝えてきた。
0
子ども達の色々な経験をさせたい気持ちはあったが、それを計画出来ていたか日々の生活をただ過ごしていたのではないかと不安。クラス職員の成長に繋がる自分自身が楽しんで保育をすることが出来た。声掛けや子ども達がやる気の出る声掛けの仕方等が難しかった。研修などを通して、これからも学んでいきたいと思えました。
先輩保育士の保育を見て参考にしたりしながらはじめは援助しすぎてしまうところもあったと思うが、少しずつ3歳児の発達に合わせた保育をすすめられたと思います。保護者への対応ではまだまだだなと感じる部分があり、先輩の保育者を参考にしているが、難しいと感じる所がある。
子ども一人ひとりと向合いながら保育した1年だと思う。残り3か月、子ども達と楽しく。そして進級にむけて「自分でできる」を増やす手助けをしていけるように過ごしていきたい。
子どもたちや職員間でのコミュニケーションを大切にとることを意識し子どもたちが自ら考えたり、意欲的に活動できる言葉遊びをした。まだまだ未熟な所も多々あるのであらゆる方面から学んでいき、子ども達にとって保育関わりをしていけるように努めていく。
支援を必要とする子もそうでない子も困っている時に、その場に適切な対応が他にもあったのではないかと反省、更に日々精進していきたいです。職員間の連携もたてよ連携を密にとれるようにコミュニケーションを図ってまいります。
気持ちが焦ってしまいがち、もっと深呼吸して落ち着くようにする。もう少しメリハリをつけた方が良いが・・・
今年1年、子ども達一人一人の成長を大切にしながら保育に取り組んできました。こども達の成長を感じられた喜びもありますが、自分自身の課題も見つかった1年でした。
保護者対応の色々な援助法が分かり、子どもたち一人ひとりをしっかり見守り、適切な対応や援助が出来る様になってきた。保護者やこども達から頼られるような保育士を改めて目指していきたいです。

令和6年保育所自己評価・12月集計表 第2さつき認定こども園（本園）

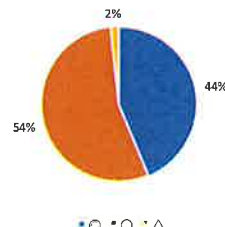
◎：とても良い ○：良い △：配慮しましょう

	◎	○	△
1. 保育指針の理解	55	75	2
2. 発達援助の基本	106	132	4
3. 健康・保健・食事	43	34	0
4. 保護者との連携	54	72	10
5. 地域との関わり	27	51	9

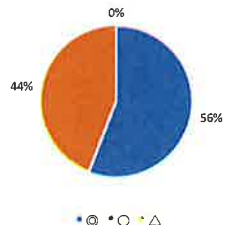
1. 保育指針の理解



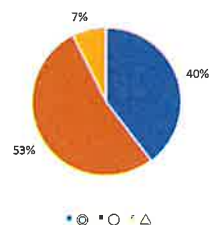
2. 発達援助の基本



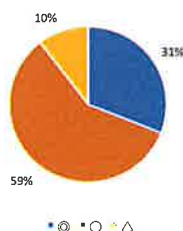
3. 健康・保健・食事



4. 保護者との連携



5. 地域との関わり



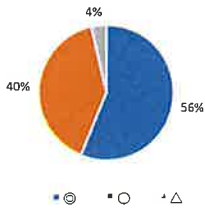
総評

1. 保育指針の理解	一人ひとりの子どもの最善の利益を第1に考え、保育指針や園の全体計画を基に遊びや活動に取り組めるよう見通しをもった保育を行って行く。研修や自己研鑽を通して、常に自らの人間性と専門性の向上に努め共通理解を図り、保育の質を高めていけるように努めた。
2. 発達援助の基本	個々の育ちに寄り添い、いろいろな遊びや応答的な関わりの中で保育を行い立案の中の個々の発達に合わせた関わりや子どもの視点に合わせた計画を実行出来たことが保育者個人の喜びとして感じられるという自己評価もあり、保育者も1歩1歩成長している事が伺える。保育を振り返りを大切にしよう一層子どもの理解を深めていき肯定的な視点で1人1人の様子や育ちを担任同士で共有し次へつなげていけるよう声かけしあえる雰囲気基本に大切にしていきたい。
3. 健康・保健・食事	登園時の検温・視診を行い家庭と健康面との共有をしていく。また、感染症予防の発信や熱中症等・園での流行中の病気の提示やアプリ等で知らせる。職員の全体周知では、引き続きアレルギー児の全体把握。エビベンを預かる園児もいることなど、アレルギーについてやエビベン使用の研修を行い、安全安心に過ごすためにも環境づくりに努めた。
4. 保護者との連携	子どもの成長のために家庭と保育施設が協力し合う責任を押し付け合うのではなく、「子どものために」という共通意識を持って集団のルールや善悪を伝えあい保護者と共に連携。密接に連携することで、子どもの成長のつまずき等を解決し保護者との信頼関係を築いていった。運動会や生活発表会などの行事に快く対応してくれた。
5. 地域との関わり	地域で開かれる予定だったはごろも祭りは、雨で中止。また次年度行われる事に期待をする。小学校に向けて子ども達が期待をもって迎えられよう引き続き取り組みたい。地域の方との挨拶でのコミュニケーションは、その都度進んで行えた。

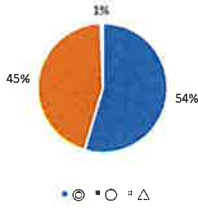
令和6年保育所自己評価・5月集計表（第2さつき認定こども園分園）

◎：とても良い ○：良い △：配慮しましょう	◎	○	△
1. 保育指針の理解	46	33	3
2. 発達援助の基本	84	69	1
3. 健康・保健・食事	26	33	1
4. 保護者との連携	40	15	13
5. 地域との関わり	5	24	12

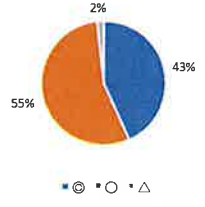
1. 保育指針の理解



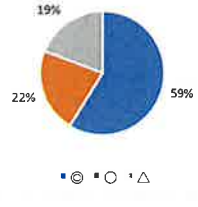
2. 発達援助の基本



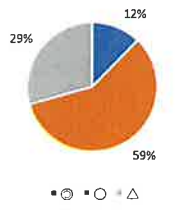
3. 健康・保健・食事



4. 保護者との連携



5. 地域との関わり



総評	
1. 保育指針の理解	保育指針や園の全体計画、各年齢の計画を基に、子どもが安心して過ごせる見通をもつ。 保育実践や保育の中から子どもの写真ととりドキュメンテーションを用いて自身の保育の内容や子どもを見る視点を他の保育士との共有及び理解に努める。
2. 発達援助の基本	子どもができたことを見守りながら必要に応じて援助を行い、子ども一人一人の気持ちを受け止め見通しを持ちながら成長に繋げていけるように取り組む。人権に関して、不適切保育に関して研修を行い、子ども達の最善の利益を第1に考え意見や個性を大切にしながらお互いが認め合える関係性を目指す。
3. 健康・保健・食事	登園時の検温・視診を行い家庭と健康面の共有をしていく。また、感染予防の発信や園で流行中の病気等を掲示やアプリ等で知らせていく。アレルギー園児の周知や熱性けいれんに関する研修を行い安心安全に過ごせる環境づくりをしていく。
4. 保護者との連携	園での生活の様子や連絡等を丁寧に伝えることで、信頼関係を築けていく。保護者の困り感や相談等を保護者面談により聞くことやまた、話しにくい内容等などには、意見箱との設置で意見をきく機会を設けていく。
5. 地域との関わり	地域、自治会の方を招いてお店屋さんごっこへ参加、交流の場を作る。公園利用や散歩の際には、必ず挨拶をする。今年は自治会のイベントへの参加もできる限り交流をもつ。

保育士の目標・自己評価（5月）

目標	子ども達・保護同士でコミュニケーションを取っていく
	個々の発達に合わせて落ち着いて過ごせる環境づくりをしていく。
	まだ慣れないことが多く、保護者からの質問にうまく答えることが出来なかったので、園の基準などを理解していきたい。
	子どもの目線を意識してコミュニケーションをとるようにする。
	在園児、新入園児それぞれの思いを受け入れ、言葉かけ、スキンシップ等の関わりを通して信頼関係を築く。
	1つのクラスで2グループに別れることでより丁寧な保育ができるようにする。
	園の方針や1日の生活の流れを知る。子ども一人ひとりに寄り添い丁寧に関わりが持てるようにする。保護者が安心して話せるような雰囲気づくりをしていく。
	新しい環境に戸惑う子もいるので、保護者の関わりを密にし、情報を共有する。
	復帰直後なので1人1人の事を知っていくこと。子ども・保護者と信頼関係を築いていく。
	子ども達が安心して過ごせるよう、自分から積極的にコミュニケーションをとる。
	一人ひとりの名前や顔を把握し安心できる環境を作る。
	日々の保育では、保護者との関わりや地域との関わりに対してクラス担任の補助をするように心掛けながら気軽に話しやすい雰囲気づくりが出来るように心がけたい。
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

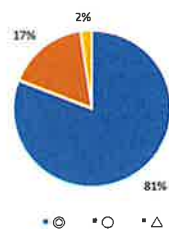
自己評価	一緒に遊ぼう等優しく声を掛けたりとコミュニケーションをとる事ができて良かった。
	名前を呼んであいさつしコミュニケーションをとるようにした。
	0
	0

令和6年保育所自己評価・12月集計表（第2さつき認定こども園 分園）

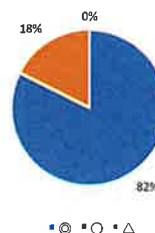
◎：とても良い ○：良い △：配慮しましょう

	◎	○	△
1. 保育指針の理解	68	14	2
2. 発達援助の基本	127	27	0
3. 健康・保健・食事	68	8	0
4. 保護者との連携	68	25	10
5. 地域との関わり	68	25	8

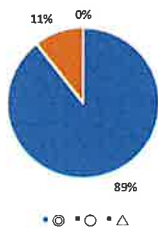
1. 保育指針の理解



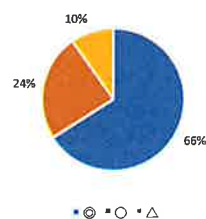
2. 発達援助の基本



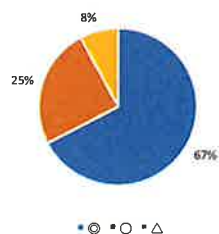
3. 健康・保健・食事



4. 保護者との連携



5. 地域との関わり



総評	
1. 保育指針の理解	保育指針や園の全体計画、各年齢の計画を基に、子どもが安心して過ごせる見通しがもてた。保育実践や保育の中から子どもの写真とトリドキュメンテーションを用いて自身の保育の内容の振り返りや相互の話し合いや研修等を通し質の向上に努めた。
2. 発達援助の基本	子どもができたことを見守りながら必要に応じて援助を行い、子ども一人一人の気持ちを受け止め見通しを持ちながら成長に繋げていけるように取り組んでいった。人権に関して、不適切な保育に関して日々の保育で自己の言動を振り返り、人権に配慮した関わりができていくか省察し正しい理解を深め、人権保育を推進し職員同士が連携をして取り組んでいった。
3. 健康・保健・食事	登園時の検温・視診を行い家庭と健康面の共有をしていく。また、感染予防の発信や園で流行中の病気を掲示やアプリ等で知らせていった。アレルギー園児の周知や熱性けいれんに関する研修等を行い安心安全に過ごせる環境づくりをしていった。
4. 保護者との連携	園での生活の様子や連絡等を丁寧に伝えることで、信頼関係を築けていった。保護者の困り感や相談等を保護者面談により聞くことやまた、話しにくい内容等などには、意見箱との設置で意見をきく機会を設けていった。
5. 地域との関わり	地域、自治会の方を招いてお店屋さんごっこへ参加してもらい交流がもてた。公園利用や散歩の際には、必ず挨拶が出来た。今年は自治会のイベントへの参加もでき交流ができた。

目 標	子ども連・保護同士でコミュニケーションを取っていく
	個々の発達に合わせて落ち着いて過ごせる環境づくりをしていく。
	まだ慣れないことが多く、保護者からの質問にうまく答えることが出来なかったので、園の基準などを理解していきたい。
	子どもの目線を意識してコミュニケーションをとるようにする。
	在園児、新入園児それぞれの思いを受け入れ、言葉かけ、スキンシップ等の関わりを通して信頼関係を築く。
	1つのクラスで2グループに別れることでより丁寧な保育ができるようにする。
	園の方針や1日の生活の流れを知る。子ども一人ひとりに寄り添い丁寧に関わりが持てるようにする。保護者が安心して話せるような雰囲気づくりをしていく。
	新しい環境に戸惑う子もいるので、保護者の関わりを密にし、情報を共有する。
	復帰直後なので1人1人の事を知っていくこと。子ども・保護者と信頼関係を築いていく。
	子ども達が安心して過ごせるよう、自分から積極的にコミュニケーションをとる。
	一人ひとりの名前や顔を把握し安心できる環境を作る。
	日々の保育では、保護者との関わりや地域との関わりに対してクラス担任の補助をするように心掛けながら気軽に話しやすい雰囲気づくりが出来るように心がける。
	0
	0
	0
0	
0	
0	
0	
0	
0	
0	

[illegible]